

進学塾アベックス アベックス便り 4月号

令和8年 4月吉日



新年度が始まり、街には新しい制服や少し緊張した表情があふれています。社会全体が動き出すこの時期は、不安と期待が入り混じるものです。だからこそ周囲と比べるのではなく、自分の歩幅で進むことの大切さを改めて感じます。

3/24に、合格祝賀会を実施しました!

頑張った1年を振り返り、仲間と楽しいひと時を過ごしました!



塾長の眩きブログ

今月の予定

○3/24日～4/7 春期講習を実施しています。

※2授業1セット単位で参加可能です。都合の良い日を設定し有意義な春休みにしましょう!!

●28日(土) 全国テスト
小6/中3の受験学年のみ

◆友達紹介キャンペーンは継続中です!宜しくね!

新しい1年は、今日からではなく...

四月を迎え、新しい一年が始まりました。けれど、本当の意味での学びは、今日から突然始まるものではありません。これまでの日々の積み重ねの上に、新しい時間が静かに重なっていく—そんな季節でもあります。新しい学年、新しい教科書、そして新しい環境。期待に胸をふくらませている人もいれば、少し不安を感じている人もいるでしょう。

「うまくやっていけるだろうか」「ついていけるだろうか」そう思うのは、ごく自然なことです。延長線上に続いています。焦らず、止まらず、

自分の歩幅で進んでいきましょう。

勉強は、区切りの日から急にできるようになるものではありません。昨日までの自分と今日の自分が、劇的に変わるわけではないからです。むしろ、毎日の小さな積み重ねが、気づかないうちに力となり、ある日ふと振り返ったときに、「前よりできるようになっている」と感じられるものです。新年度になると、「今年こそは」と気負いすぎてしまうことがあります。しかし、大きな目標を掲げることに大切なのは続けられる形を作ることです。無理をして一時的に頑張るよりも、無理なく続けられる習慣を持つほうが、一年後の差ははるかに大きくなります。また、新しい環境では、周囲と自分を比べてしまう場面も増えるでしょう。

理解が早い人、成績が良い人、自信に満ちているように見える人。けれど、それぞれの歩みの速さは違います。

他人のペースに合わせる必要はありません。自分の歩幅で進み続けることが、最終的には最も遠くまで進む方法です。

新しい学年で学ぶ内容は、これまでより難しく感じるかもしれませんが。それは能力が足りないからではなく、次の段階へ進んだ証です。

分からないが増えるのは、成長の入り口に立っているからです。大切なのは、分からないままにしないこと。

一つずつ理解しようとする姿勢が、確実に力を育てていきます。

保護者の皆さまにとっても、新年度は生活や環境が変わる時期です。子どもの様子を見ながら、声をかけるべきか、見守るべきか、迷うこともあるでしょう。

子どもは特別な言葉よりも、日常が変わらず続いていることに安心を感じます。焦らせるでもなく、放置するでもなく、いつも通りの距離で見守ることが、最も大きな支えになることも少なくありません。

一年という時間は、長いようでいて、振り返ると驚くほど短く感じられます。その中で確かな力を育てるためには、特別な瞬間ではなく、何気ない日常の積み重ねが重要になります。

今日の一問、今日の一時間。その地道な努力が、やがて大きな自信となって返ってきます。

春は「始まり」の季節と言われます。しかし同時に、これまでの努力を受け取り、次へつなげていく季節でもあります。

新しい一年は、今日だけで形作られるのではなく、これまで歩いてきた道の延長線上に続いています。

焦らず、止まらず、自分の歩幅で進んでいきましょう。